

平成30年度
第2回 苫小牧市航空機騒音対策協議会
会議録

平成30年11月22日（木）

午後6時30分

リサイクルプラザ苫小牧 2階会議室

会 議 次 第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 部長挨拶
- 4 議 題

(1) 報告事項

ア 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

- ①「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過について **【資料 1-1】**
- ②「米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転」に関する報告について **【資料 1-2】**
- ③米軍再編に係る各基地の訓練移転経過について **【資料 1-3】**
- ④沖縄県の負担軽減調査結果について **【資料 1-4】**

イ 日豪共同訓練について

【資料 2】

ウ 航空機事故関連について

- ①千歳基地所属 F-15 J の部品落下事案について **【資料 3-1】**
- ②平成 30 年度（上期）航空機の部品落下事案について **【資料 3-2】**
- ③平成 29 年度（下期）航空機の部品落下事案について **【別紙】**

エ 平成 30 年度要望活動結果について

【資料 4】

オ 新千歳空港における最近の動向について

【資料 5】

(2) 協議事項

ア 平成 30・31 年度再編関連訓練移転等交付金事業内容について

【資料 6】

○ 協議会委員 ※敬称略

出席者 (14名)

会長	丹羽 秀則	委員	小倉 巖	委員	三海 幸彦
副会長	星野 邦夫	〃	星 孝二	〃	牧田 俊之
委員	丹治 秀一	〃	永谷 俊文	〃	山崎 洋一
〃	丹治 秀寛	〃	山端 豊城	〃	石原 幸雄
〃	松重 茂雄	〃	竹田 秀泰		

欠席者 (5名)

副会長	丹治 敏男	委員	広瀬 悦雄	委員	佐野 輝幸
委員	星野 岳夫	委員	亀谷 秀雄		

○ 事務局 出席者 (9名)

まちづくり推進室	室長	小名 智明	環境衛生部	部長	椿 勇喜
空港政策課	課長	柴田 健太郎	〃	課長	深山 満展
〃	主査	小堀 綾子	〃	主査	櫻井 理博
〃	主査	銅 真	〃	技師	木原 繁樹
〃	主査	込山 寿明			

平成30年度 第2回苫小牧市航空機騒音対策協議会 会議録

1 開会

◇事務局

それでは定刻となりましたので、ただいまから平成30年度第2回苫小牧市航空機騒音対策協議会を開催いたします。

それでは、開催にあたりまして協議会を代表して、会長からご挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

2 会長挨拶

◆会長

どうも皆様、夜分大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

私、歯の治療をしているものですから、少し声が抜けるものでよろしくお願いいたします。

先ほど、今年は大変な年だったので、委員に地震関係どうですかと聞きましたら、「いやいや大変な被害だったよ」と、このような事をお話されまして、被害に遭われた皆様に対しましては、今後とも元気に頑張っていたきたいなと思っております。

それに関連しまして、1番被害が大きかった厚真町に3日、4日経った頃、私の友人のところに行ったのですが、自衛隊さんには本当に良く対応していただいております。

そして、今回要望に行かれた方もお分かりでしょうけれども、千歳の第2航空団や防衛局に行ってきましたけれども、それぞれご努力いただいたことに御礼を申し上げて来たところでございます。

国土交通省も担当部署は違うわけでございますけれども、すぐに激甚災害ということで、対応いただきまして、私たちのほうも関係しているものですから、つくづく有難いなと思っております。

さて、この協議会の関連でございますけれども、通常通り報告事項、それから協議事項がございます。

報告事項には、今申し上げました要望活動があるわけでございますけれども、その中で新千歳航空事務所の要望後、視察がございまして、新しく国際ターミナルビルが拡張され、滑走路もできる、このようなことで、作業中ながら丁寧に見させていただきました。行かれた皆様には、好評だったわけでございます。

案内してくださる担当者が、ざっくばらんに話ししていただきまして、話長さに、次に行く所が遅くなってしまったと、そんなこともございました。今まで何度も行っておりますけれども、そういうことはあまり無かったのかなと、非常に和やかに見せていただきまして、出席いただきました皆様に御礼を申し上げるところでございます。

その後、上京いたしまして防衛省と国土交通省東京航空局などに行きまして、今日も議題にな

ります、沖縄の軽減対策について聞きましたところ、訓練移転におきまして、防衛では、沖縄の調査した結果、騒音が少し下がっているという数字が出ていると聞いたところです。

これは、色々と議論の別れるところもあろうかと思えますけれども、今まで具体的な数字をあまり聞いていなかったわけですから、そういうのが出されておりました。

ただ、当事者の方、地元ではそんなに実感がないとも聞いています。

いずれにしても、米軍の訓練が沖縄で少し減って皆様のためになるように、今後とも祈っておるところでございます。

後は、10月末に新しく沼ノ端の交流センターを建てていただきまして、大変立派な建物でございまして、沼ノ端の中核になって、おおいに利用されることをお願いしているところでございます。

また、東開町のところにも新しい施設、これはもう間もなく具体化するのではないかと考えております。

植苗に関しては、ご存知のとおり道営住宅が、間もなく明けてから出来上がってくるということとして、着々と進んでいる、そういうことも含めて、皆様はもう既にご存知でございますけれども、申し上げます。

そういった中、今日は報告事項に目を通していただきたいのですが、アイウエオとありますが、アで一つ切りまして、イからウこれを一つ、エとオを一つ、このように区切りながら、あまり長くならないように、事務局からご説明していただきたいと思えます。

どうか一つ時間の中でしっかり審議いただきまして、進めていきたいと思えます。では、よろしく願いいたします。

3 部長挨拶

◇環境衛生部長

皆さんお晩でございます。

本日は皆様大変お忙しい中、そして初雪の降った後で大変道路状況が悪い中、お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。

皆様方におかれましては、常日頃から市政の推進、並びに新千歳空港や千歳飛行場をめぐる様々な課題に対しまして、特段のご協力をいただいておりますこと、この場をお借りして改めて御礼を申し上げたいと思えます。

後ほど、報告事項の中で担当からご説明いたしますけれども、会長のご挨拶にもありまして、10月に行われました本協議会の要望活動につきましては、皆様大変お忙しい中、多くの委員の皆様にご参加をいただきましたこと、これも改めて御礼を申し上げたいと思えます。

また、米軍再編に係る千歳基地への訓練移転につきましては、本年の4月に実施されて無事訓練は終了したところでございます。

本日はこのほか、報告事項といたしまして、沖縄県の負担軽減調査結果や航空機部品落下事案などについてご説明させていただくほか、協議事項といたしまして、再編関連訓練移転等交付金

の事業内容につきまして、ご協議させて頂きたいと考えております。

本日、委員の皆様には大変ご苦勞をお掛けいたしますけれども、よろしく願い申し上げます、簡単ですけれどもご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◇事務局

それでは、まず事務連絡といたしまして、はじめに拓勇西町町内会の副会長の改選がありましたので、ご報告致します。

次に、配布資料の確認をさせていただきます。配布資料につきましては、資料1～6を事前に配布させていただいております。

また、本日、修正後の次第と追加資料として別紙を配布させていただいております。

次第のウ③、平成29年度下期航空機の部品落下事案について、添付していなかったことから、この度、追加資料として配布し、報告をさせていただきます。

当初配布した資料をしっかりと確認せずに送付したことは、事務局として確認が足りなかったということでございますので、この場を持ってお詫びにかえさせていただきます。大変申し訳ございませんでした。

資料については、以上となりますが、配布漏れ等がございましたら、お知らせいただければと思います。それではこれからの議事、進行につきましては、協議会規約に基づき会長が議長として進めていただきます。

なお、議事録作成の関係上、発言に際しましては、マイクのご使用をお願いいたします。また、マイク使用後はスイッチをお切り下さいますようお願いいたします。それでは会長よろしくお願いいたします。

◆会長

それでは、さっそく平成30年度第2回苫小牧市航空機騒音対策協議会を開催させていただきます。4の議題、(1)報告事項アの4番までお願いいたします。

4 議題

(1) 報告事項

ア 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

◇事務局

私からは、報告事項アの「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」についてご説明いたします。座ってご説明させていただきます。

はじめに、①「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過について、資料1-1、1ページをご覧ください。こちらは、平成30年4月16日開催の本協議会以降の経過について、記載しております。内容につきましては、この後の資料で説明いたします。

次に、②「米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転」に関する報告について、資料1-2、2ページをご覧ください。こちらは、既に参考資料として配布させていただいております、本年4月に行われた「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書」の一部を抜粋したものでございます。

今回は、9回目の訓練となっており、三沢飛行場から千歳基地への訓練移転で、4月23日から27日まで、8回の訓練が実施されております。参加規模は、F-16×6機のパイロットや整備員、その他関係する人員を含め86名が参加となっております。

下から2段目は「米軍人外出状況」でございしますが、「千歳市内への外出はあった」と聞いております。また、訓練期間中の事件・事故等については、なかったと聞いております。

次に、3ページをご覧ください。こちらは、「訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等について」でございしますが、この度の訓練期間中における苦情及び問い合わせに関してはございませんでした。

◇事務局

私からは、資料1-2の4ページからの「訓練移転に伴う騒音測定結果について」を説明させていただきます。座って説明させていただきます。

まず、資料の5ページをお願いいたします。こちらは、訓練移転に伴う騒音測定地点でございしますが、今回もこれまでと同様の地点、計21カ所で測定を行いました。

次に、6ページの「訓練移転時の騒音測定結果」でございしますが、こちらには苫小牧市、北海道、防衛省の測定から得られました最高値を掲載しております。

訓練期間中の最高値は、清流公園で観測されました自衛隊機の90.4dBでありまして、米軍機は、同じく清流公園で観測されました88.0dBでございました。いずれの値も「これまでの訓練移転最高値」よりも低い値でございました。

次に、7ページ目をお願いいたします。こちらは訓練期間中の日ごとのLden値を範囲で示したものです。こちらの値は自衛隊機と民航機を合わせた値となっておりまして、右側には平成29年度のLden日最大値を示しております。

訓練期間中で最も大きかった値は、太枠で囲んであります60dBでしたが、各局ごとに比較しましても、昨年度のLden日最大値よりも、訓練期間中の値が下回っている結果となっております。

最後に、8ページでございしますが、以上の結果を踏まえた「評価」としまして、今回の訓練移転における騒音につきましては、測定値及び日Lden値から見ましても、第2航空団が行っている「通常訓練の範囲内であった」という結果でございました。私からの説明は以上です。

◇事務局

次に、③米軍再編に係る各基地の訓練移転経過について、資料の1-3、9ページから12ページまで各年度別で載せております。

12ページ下段でございしますが、30年度は現在まで9回の訓練移転が実施されており、うち国内では6回、グアムへの訓練移転が3回実施されております。

13 ページから 22 ページにつきましては、「米軍再編に係る各基地への訓練移転に関する訓練計画概要」及び「訓練移転調査結果」でございます。後ほどご参照ください。なお、訓練期間中における事件・事故等は無かったと伺っております。

また、21 ページ、22 ページの関係する防衛局及び地元自治体の訓練移転調査結果につきましては、調査中でございますので、次回の協議会でご報告いたします。

次に、④沖縄県の負担軽減調査結果について、資料 1-4、23 ページをご覧ください。

こちらは、嘉手納飛行場に隣接しております沖縄市、嘉手納町、北谷町に年 1 回アンケート調査を実施したものでございます。照会項目 (1) 「平成 29 年度の環境基準超過日数」でございますが、平成 28 年度と比較しますと、3 市町で、超過日数が増加しております。

次に、照会項目 (2) の「平成 29 年度に嘉手納基地へ飛来した外来機の機数について」ですが、沖縄防衛局からの情報提供などによりますと、少なくとも 87 機程度の飛行を把握しているとのことでございます。

次に、照会項目 (3) の「平成 29 年度の訓練移転実施により、負担が軽減されたと考えるか。」との質問に対し、沖縄市からは「環境基準値を超過している地域があること、また、変わらず外来機の飛来があること、さらに、平成 29 年度の騒音苦情件数が過去最多であったことなどから、基地負担の軽減の実感があるとは言い難い。」

嘉手納町からは「平成 29 年度の訓練移転期間中の負担軽減については、一部期間において、Lden 値及び騒音回数の一平均値が 1 年を通した一日平均値と比較して軽減された結果となったが、その期間を除いては、外来機の飛来・訓練等があり、その効果を実感するに至らなかった。しかし、過去には訓練移転期間中の航空機騒音が激減し効果を実感した例もあり、そのような状況が多く再現されるよう政府及び関係機関に対し要請する。」

北谷町からは「環境基準値を超過した日数を、昨年と比較すると 5 測定局とも増加しており、航空機騒音に関する苦情も増加している。依然として騒音被害は軽減されていない。」との回答でございます。

24 ページには、各自治体の代表的な観測地点での年度別、月別の騒音観測回数と W 値の数値データ及びグラフを、また 25 ページの右側には、先ほどの調査結果表中の嘉手納基地への外来機数を掲載しております。以上で、報告事項アの説明を終らせていただきます。

◆会長

それでは、これで一旦区切りまして、米軍再編の係わることにつきまして、①～④までありました。

ご説明が終了しましたので、質問をお受けいたします。ご意見、ご質問ございましたらお願いします。

米軍再編の千歳基地の場合は、今まで米軍のほうが、音は大きかったのですけれども、今回は自衛隊の方が若干大きいということです。

よろしいですか。それでは続きましてイ、ウの①～③まで説明お願いいたします。

イ 日豪共同訓練について

◇事務局

続きまして、報告事項のイ「日豪共同訓練について」をご説明いたします。

資料 2、26 ページをご覧ください。こちらは、「日豪共同訓練の実施について」でございまして、平成 30 年 8 月 31 日付けで航空幕僚監部から通知されたものです。

内容につきましては、9 月 5 日から 30 日までの間、千歳基地、三沢基地及び同周辺空域において、オーストラリア空軍及び千歳基地第 2 航空団及び三沢基地第 3 航空団などの北部航空方面隊による日豪共同訓練を実施するというものでございます。

次に、27 ページをご覧ください。こちらは、「日豪共同訓練の中止について」でございまして、9 月 6 日付けで航空幕僚監部から通知されたもので、同日に発生しました、平成 30 年北海道胆振東部地震のため、本訓練については中止となっております。

ウ 航空機事故関連について

◇事務局

続きまして、報告事項ウの①「千歳基地所属 F-15J の部品落下事案について」をご説明いたします。資料 3-1、28 ページをご覧ください。こちらは、本年 9 月 4 日付けで千歳基地から通知されたものでございます。

概要につきましては、9 月 4 日 14 時 14 分に千歳飛行場を離陸し、日本海上空において訓練後、15 時 29 分に同飛行場に着陸した F-15 戦闘機の「左エルロン下部に貼っていた修理ストラップ」、長さ約 60cm、高さ約 7cm、重さ約 50g の 1 枚が、着陸後の点検で紛失していることが発見したとのことでございます。

落下部品の部位等につきましては、29 ページに写真を載せておりますが、補助翼に貼っていた修理ストラップが落下したとのことでございます。

修理ストラップとは、機体外板を補修するストラップで、機体を補修した後の補強材として貼り付けし、塗装するというものでございます。

続きまして、報告事項ウの②「平成 30 年度（上期）航空機の部品落下事案について」をご説明いたします。資料 3-2、30 ページをご覧ください。

こちらは、本年 4 月から 9 月までの上期分につきましては、10 月 31 日付けで千歳基地から通知されたものでございます。

裏面の 31 ページをご覧ください。上期分の千歳基地における部品落下事案は 2 件ございました。

1 件目の事案につきましては、発生日は「平成 30 年 5 月 11 日」、機種は「B-747」いわゆる政府専用機でございます。落下部品の部位等につきましては、「スタティックディスチャージャー」と言いまして、電気を放電させる装置でございます。

2 件目の事案につきましては、発生日は「平成 30 年 6 月 4 日」、機種は、「UH-60J」いわゆる救難用のヘリコプターでございます。

落下部品の部位等につきましては、「テールローターブレード・ラバーブーツの一部」「結束バンドの一部」「緩衝材」と言いまして、尾部回転翼の接合箇所を保護するゴムの一部が破損し落下したものでございます。なお、2 件の落下部品の大きさ形状については、記載のとおりでございます。

イラスト及び写真につきましては、32 ページに「政府専用機のスタティックディスチャージャー」、そして 33 ページに「救難用ヘリコプターのテールローターブーツなど」について載せております。

第 2 航空団の説明によりますと、1 件目については、千歳基地から稚内、女満別を飛行中に落下、2 件目については、千歳基地から丘珠飛行場、白老方面、夕張岳周辺を飛行中に落下したと想定されるのとことごとでございます。

2 件とも、着陸後の点検で紛失したことが判明し、落下箇所は特定できない状況であり、現在のところ被害の報告はないと伺っております。

続きまして、本日配布いたしました、追加資料の「別紙」についてご説明いたします。

本来であれば、事前に送付させていただきました資料に添付するところとございましたが、資料作成時に取り紛れてしまいました。申し訳ありませんでした。

こちらは、「平成 29 年度（下期）航空機の部品落下事案について」4 月 25 日付けで千歳基地から通知されたものでございます。

裏面の 2 ページ目をご覧ください。1 件目の事案につきましては、発生日は「平成 29 年 10 月 17 日」、機種は「B-747」、政府専用機でございます。

落下部品の部位等につきましては、「インストラクション・デカール」と言いまして、機体の出入り口における注意事項を記述したシールが落下したものでございます。

2 件目の事案につきましては、発生日は「平成 29 年 10 月 26 日」、機種は、「F-15J」、落下部品の部位等につきましては、「フレキシブル・フェアリング・ストラップ・クリップ」と言いまして、エンジンのノズルの後ろにある、機体の外装とエンジン部分との磨耗を防ぐプラスチック製のクリップが落下したものでございます。

なお、大きさ・形状については、記載のとおりでございます。イラスト及び写真につきましては、3 ページに「政府専用機のインストラクション・デカール」、4 ページに「F-15 のフレキシブル・フェアリング・ストラップ・クリップ」について載せております。

第 2 航空団の説明によりますと、1 件目につきましては、千歳飛行場から仙台市、青森市を飛行中に落下、2 件目につきましては、千歳飛行場東側山間部を通過して、太平洋訓練空域を飛行中に落下したと想定されております。

2 件とも着陸後の点検で欠損紛失したことが判明し、落下箇所は特定できない状況であり、現在のところ被害の報告はないと伺っております。

以上の 3 件の事故報告、合計 5 件の部品落下については、第 2 航空団からは、今後の改善策として、原因の究明とともに、引き続き、当該部位等の飛行前、飛行後による、入念な安全点検を徹底し、不具合の未然防止に努めてまいりたいとことごとでございます。

市としましては、この度の部品落下事案を受けまして、第2航空団に対し、同型機の整備及び管理の徹底を行うとともに、事故の原因究明及び再発防止策を速やかに行う旨などを、強く申し入れたところでございます。以上で、報告事項イ、ウ及び追加資料の説明を終わります。

◆会長

それではイ、ウの③まで説明いただきました。

このことにつきましては、民間航空機の落下物についても関係するわけですが、非常に大変なことでございます。したがって、国交省にも今回の要望で申入れをしておりますし、国交省でも非常に興味を持って、色々に対応しているということも聞いてきているわけでございます。

ただ、自衛隊関係に関しては、お話したとおりでございますが、小さなものでも上空から落ちると武器になるわけでございます。

それでは、イ、ウに関しまして皆様からご意見、ご質問を受けたいと思います。

日豪共同訓練については、震災でやらなくなりました。そして、追加しまして戦車の走行があったわけですが、これも震災と関連しますので、次の日だったかな、何日だった。

◇事務局

9月24日です。

◆会長

私の感じでは、戦車が家の近くを通るものですから、震度2、東京では震度3と言いましたが、感じております。戦車については、今回の地震で非常に敏感になっていましたことから、市で申し入れ、自衛隊で自粛してもらいまして、大変感謝しております。

それでは無いようですので次に進んでよろしいでしょうか。

ありがとうございました。それでは、エとオの説明お願いいたします。

エ 平成30年度要望活動結果について

◇事務局

それでは、報告事項のエ「平成30年度 要望活動結果」につきまして、私のほうからご説明いたします。

始めに、資料4の35ページをご覧ください。

今年度の要望活動につきましては、9月に日豪共同訓練が予定されていたことから日程を遅らせて、10月24日に千歳・札幌、25、26日に東京と3日間にわたり、国土交通省・防衛省の関係機関並びに地元選出国會議員への要望活動を行っております。又、全日本空輸株式会社の本社を訪問し、遅延便に関する意見交換を実施しております。

千歳・札幌には、会長をはじめ委員8名、東京には委員5名のご参加をいただいております。

日程の詳細につきましては、36 ページに記載のとおりでございます。

次に、要望先につきましては、37 ページ、38 ページをご覧ください。こちらに記載の国会議員、国土交通省、防衛省の関係各位に要望書を提出しております。

要望先での対応者につきましては、39 ページのとおりでございます。今年も堀井学衆議院議員にご尽力をいただき、防衛省では鈴木貴子防衛大臣政務官、国土交通省では、田中英之国土交通大臣政務官に直接要望書を手渡したほか、各関係部署へ要望を行っております。

次に、要望書につきましては、40 ページから 45 ページのとおりでございます。

次に、46 ページの国土交通省の回答要旨でございますが、始めに要望事項 1 の飛行コースにつきまして、東京航空局新千歳空港事務所からは、「しっかりと対応していく必要があります、引き続き、関係航空会社の指導をしていきたい」との回答でございます。

次に、要望事項 2 の「運航自粛時間の抑制」につきましては、「継続的に取り組み、しっかりするよう各航空会社に要請していきたい」との回答でございます。

次に、要望事項 3 「低騒音機種への切替え」及び 4 「外国貨物機の騒音軽減」につきましては、「低騒音機の導入が最も重要な手段であることを認識しており、継続要望として東京航空局並びに本省航空局伝えたい」とのことございました。

次に、新たに加えました、要望事項 5 の「航空機等の安全管理の徹底、また、航空機事故に関する情報提供」につきましては、「安全運航の確保が最重要課題と認識している。今後も安全運航の確保に万全を期して、航空会社に対する指導や監督を実施し、地域の方が安心して生活できる環境を作っていきたい」とのことございました。

なお、東京航空局、国土交通省航空局も同様の回答となっております。

次に、47 ページをご覧ください。要望事項には載せておりませんが、融雪剤の使用量増について伺ったところ、「薬剤は、1 番環境に優しいものを使用しており、できるだけ薬剤を少なくするなど効果的な方法を継続していきたい。」 また、「薬剤の量を減らす、抜本的な対策はないのか、模索しており、対策について調査に動き出している」との回答でございます。

次に、防衛省の回答要旨でございますが、48 ページをご覧ください。

要望事項 1 の「市街地上空の低空飛行」につきまして、第 2 航空団からは、「飛行訓練にあたっては航空法等を順守して飛行訓練を行っている。他の基地から来たパイロットに対してもブリーフィングなどで、教育指導を行っており、今後も飛行の安全を念頭に置き、騒音低減に配慮していく」とのことでございます。

次に、要望事項 2 の「通常訓練の離着陸コース」につきまして、第 2 航空団からは、「天候の状況等により、安全確保のため雲を避けるなどの飛行をすることがあることをご理解願いたい」との回答でございます。

次に、49 ページをご覧ください。要望事項 3 の「運航自粛時間における飛行」につきまして、第 2 航空団からは、「深夜・早朝の飛行訓練は自粛しているが、緊急発進や災害派遣等により、飛行する場合があることをご理解願いたい」とのことでございます。

次に、要望事項4の「土日祝日の飛行」につきまして、第2航空団からは、「通常の飛行訓練では、土日祝日の訓練を計画していないが、上級部隊が計画する演習等については、一部、土日等に飛ぶことがあるので、ご理解願いたい」とのことです。

最後に、要望事項5の「航空機等の安全管理の徹底、また、航空機事故に関する情報提供」ですが、第2航空団からは、「平素より定期的な整備、飛行前後の点検等を実施している。引き続き、安全確保を強化していく、万が一事故等が発生した場合は、苫小牧市への速やかな情報提供を心掛けたい」とのことです。

次に、防衛省の住宅防音助成に関する要望です。

50 ページをご覧ください。北海道防衛局からは、「75W未満の取扱いについては、住宅防音事業の今後の在り方に関わる課題で、全国の住宅防音事業の進捗状況等を踏まえ、今後の検討課題と考えている」とのことです。

次の、51 ページから 55 ページまでは、要望活動の際に、委員の皆様から出された、主な質問に対する回答をまとめたものがございますので、後ほどご参照願います。

最後でございますが、この度の要望活動に合わせまして、全日本空輸株式会社、ANAの本社を訪問し、遅延便に関する意見交換を実施しております。

54 ページ下段から 55 ページをご覧ください。

全日本空輸株式会社からは、「遅延便について、防衛関係などの理由による混雑のほか、LCCによる空路の混雑、悪天候などが遅延の理由となっているが、航空会社としては、遅延便に対して、高い問題意識を持っており、出発及び到着時間の前倒しや、機材繰りの工夫など様々な取り組みで、一つ一つできることから解決していきたい」というお話をいただいたところでございます。

以上が要望結果でございますが、この度の要望につきましては、市の都合で日程を10月に遅らせた訳ですが、第4次安倍内閣の発足後だったため、新しい大臣政務官の田中英之国土交通大臣政務官や鈴木貴子防衛大臣政務官に直接お話できたということで、たいへん意義ある要望活動になったものと考えております。

以上で、平成30年度の要望活動結果の報告とさせていただきます。

◆会長

ありがとうございました。追加しまして、この54ページの全日空を訪れたときに、いつもご指摘を受けていた周辺対策費の30億に足りない分、これについて全日空も少し協力したいということがありまして、道庁もどのような使われ方をしているかということをお話していただきたい、ということがありましたので、子どもたちとお年寄りを中心にして、利用しているのですよと、子どもについては将来のために、海外研修も含めて、もう20年間やって大変な成果がでていまして、ということをお話しましたところ、全日空の皆様にも大変感激していただきまして、どの位になるかは知りませんが、出していただけるというような感触はありました。

それから非常に驚いたことがありまして、アルコール検査で大分遅延していたことです。

パイロットは、非常に善良な人たちと私はいつも思っていたわけですが、今回お酒を飲んで運転できないということが報道であったところです。

遅延便については、民間航空機会社も協力してくれて、色々と対策を打ってくれているのですが、肝心のパイロットがあのようなことで良いのか。この辺は、もう既に報道等がございますけれども、ちょっと驚いたところでございます。

オ 新千歳空港における最近の動向について

◇事務局

私からは、報告事項のオ、「新千歳空港における最近の動向について」ご説明いたします。座って説明させていただきます。

資料 56 ページをご覧ください。こちらは、10月24日の本協議会要望活動時、新千歳空港を視察した際に説明いただいた資料でございます。

57 ページになります。新千歳空港の現況としまして、国内・国際線の旅客数の推移について記載されておりますが、平成23年以降は国内線、国際線ともに増加している状況にあり、国際線につきましては、約4倍となっているところでございます。

次に、58 ページになります。国際線の利用者急増に伴う新千歳空港の障害としましては、「誘導路の混雑」、「国際線ビルの混雑」、「国際線エプロンの混雑」の3点についてあげられております。

次に、59 ページになります。こちらは今ほど説明しました3点の混雑状況を解消するため、平成28年度から行っている「国際線ターミナル地域再編事業」の概要についてです。

少し見えづらいのですが、左側の青い点線は GSE 置場の新設で、GSE とは乗客の荷物を運んだり、燃料を補給したりする地上支援車両のことで、この車両置場を新設いたします。

次に、真ん中の赤い点線が、国際線エプロンの拡張であり、国際線の航空機が駐機するエプロンを3スポット増やし8スポットにいたします。右側の黄色い点線は、南側誘導路の新設で、今までは千歳側の北誘導路だけのため混雑しておりましたが、南側に誘導路を新設することにより、国際線ターミナルへのスムーズな移動を可能にするものです。

次の、60 ページにつきましては、別に詳細な資料がございますので、後ほどご説明させていただきます。

次に、61 ページをご覧ください。こちらは国際線旅客ターミナルビル施設再整備についてです。国際線旅客ターミナルビルにつきましても、今後さらなる需要が見込まれることから、増築を行うものでございます。

主な、工事内容についてですが、63 ページをご覧ください。上の段の図になりますが、現在ある国際線旅客ターミナルビルの約 61,000 m²を、約 124,000 m²と約 2 倍の増築を苫小牧方向に予定しております。増築部分は、8階建てになり、1階は車寄せや手荷物の荷捌場、2階、3階が国際線旅客ターミナルビルの出発ロビー及び到着ロビーとなっており、63 ページの下図が増築後のチェックインロビーのイメージ図となっております。

4 階は、休憩ができるラウンジや免税店などの商業施設、国際線旅客ターミナルビルに付属するホテルのフロントなどになり、5 階から 8 階がホテル客室になります。このホテルは、富裕層をターゲットにした高級ホテルで、温浴施設や高級レストランなどを併設しており、客室は、スタンダードルームから最上級スイートルームまで約 180 室を予定しております。

こちらの工事は、平成 32 年 3 月末までを予定しており、工事が完了した部分から供用を開始いたします。

64 ページが、国際線のエプロン側からと一般駐車場側から見た完成予定図となっております。

次に、65 ページです。こちらは国内線旅客ターミナルビルの施設整備についてです。こちらにつきましては、平成 30 年 7 月末に工事が完了しております。

施設整備内容についてですが、69 ページをご覧ください。こちらは国内線旅客ターミナルビルの図になりますが、赤い部分について施設整備を行っております。

70 ページをご覧ください。こちらは先ほどの赤い部分の 1 階国内線到着部分の整備概要図になります。下が整備後の図になっており、バゲージクレームとバスラウンジを左側と右側にそれぞれ増設しております。バゲージクレームとは、搭乗の際、預けた手荷物を乗客が受け取るスペースのことです。

図の真ん中には出発手荷物荷捌場を新設しており、こちらは、出発時預けた荷物を、到着時従業員が仕分けするスペースとなっております。また、併せて、乗客からお預かりした手荷物の検査を、導入した最新基準の検査機器で行い、セキュリティを強化しております。

次に、71 ページです。こちらは 2 階国内線出発部分の整備概要図になります。下の整備後の図になりますが、左側の搭乗待合室を拡張し、保安検査場は配置場所を改めるとともに、5 つから 6 つに増設しております。

また、チェックインカウンターも 2 階にすべて集約し、ANA や JAL のカウンターを大きくするなど、配置を改めております。

73 ページが完成後の写真となっておりますので、参考にご覧になってください。

最後になりますが、新千歳空港誘導路複線化の整備についてです。

75 ページをご覧ください。新千歳空港では、降雪シーズンに欠航や遅延が多く発生しており、冬期における安定運航が課題となっていることから、冬期の安定運航を図る目的として、誘導路を複線化することで、除雪車両や駐機場へ引き返す航空機の動線を確保し、冬期における欠航や遅延の回避・軽減を図る整備を行います。

76 ページの整備概要についてです。写真の滑走路上の北側、南側に青い点線がございます。こちらに誘導路を新しく取り付けることで、除雪車両がこの新しい誘導路を使って移動することができ、航空機との動線をわけることによって、航空機が使用する滑走路を早く解放することが可能となります。

また、右側の赤い点線部分ですが、こちらに誘導路を新しく取り付けることにより、離陸機が一度駐機場まで引き返さなければならなくなった場合に、この誘導路を使うことで、滑走路を使って引き返さなくてもよくなり、滑走路の閉鎖を回避することができるようになります。

こちらの工事期間につきまして、青字の北・南側末端取付誘導路は平成 34 年度まで、赤字の平行誘導路は平成 37 年度までの完成を予定しております。

私からの説明は、以上でございます。

◆会長

それでは、エとオ、要望活動と、新千歳空港の最近の動向ということで説明しまして、何かご質問ありましたらお受けいたします。

冒頭に申しあげましたように、新千歳空港における最近の動向ということで、これを視察してきました。非常に好評だったということを申し上げます。

はい、Aさん。

◆A委員

これに関連してですけれども、よろしいでしょうか。これはお願いです。

まず、政府専用機です。今は、新しい政府専用機が 1 機来ているわけですけれども、この飛行機のデータといいますか、そういうのを是非提示してほしいのと、いつ切り替えになるのか。

もう一つは、自衛隊機の部品落下等々が多いのですけれども、できれば、新聞、ニュースでしか聞いていませんけれども、外国機の緊急着陸を千歳で結構しているみたいなのですけれども、危険な状態で緊急着陸をするわけですから、できればこの協議会で、どの位あるものか示していただければと思います。

もう一つは、陳情のときも言いましたけれども、資料の最後に、新しい誘道路の図面が出ているのですが、この上が調整池となっております。

近年、融雪剤を多く撒くわけなのですが、この 2、3 年の間で非常にゲリラ豪雨がありまして、向こうの説明は基準値になってから放流しているとは言いながら、かなりの量が溜まって途中で放出しているのではないのかと思っています。放出している年月日は一応出ていますけれども。新しい誘導路が沢山できますので、いずれはこの沈砂池方式というのはどうなのかなという個人的な見解ですがあるのです。

要望のときも言いましたからあれですけども、これだけ薬品を撒いて決して良いものではないなと思っています。

また、岩国基地の FA-18 が墜落しております。これは、次の時でも良いですけども、何で墜落したのか、原因もできれば調べていただければなと思っています。

もう一つは、これは航空自衛隊ではないと思うのですけれども、日本にもオスプレイが何ヶ所かに配備になります。今年みたいな地震があった時の救助として、ヘリコプター、オスプレイが使用されるのかなという個人的な見解です。

オスプレイは、陸上自衛隊と聞いていますけれど、千歳への配備などそういう情報があるのであれば、ご提案いただければなと思います。以上です。

◆会長

それでは、整理します。政府専用機の問題、それから民間機の安全体制、それから大雨のときの調整池の取扱い、オスプレイ、FA-18、この位ですね。それではどうぞ。

◇事務局

まず、政府専用機の飛行機の性能なのですけれども、今年、既に1機配備されまして試験運航という形になっています。もう1機は12月に入ってくるという情報まで得ておりまして、今年度中は試験を行って、来年度の4月以降本格的に運用を開始するというお話をお話を聞いておりますけれども、飛行機等の性能に関しましては、情報がないものですから、次回の協議会に報告できるようにしたいと考えております。

それから、民間航空機の緊急着陸等の情報に関しましては、東京での要望でも情報を流してくれということはお願いはしてきていますけれども、今現在、苫小牧には情報がないものですから、これにつきましても今後、情報を得まして、次回報告できる案件があればさせていただきたいと思っております。

それから、調整池の関係でございますけれども、要望に行った際にも委員から質問していただいております、中々わかりづらい回答ではありましたが、やはり融雪剤の量が多いということはCABも理解しております、これを減らす調査を今始めたところということで回答いただいております。

ご懸念があるとおおり、今後誘導路も増えてまいりますので、これは中々まだわからない話ですけれども調整池を広げるという話も少し聞いたところではございますが、その辺については、今後どうなるのか、情報等を集めていかなければいけませんし、融雪剤の量が本当に増えていくということであれば、調整池は止めたほうが良いという要望に切り替えるということも考えていかなければいけないかなと考えております。

それから、FA-18が沖縄で落ちたというニュースも出ましたけれども、これは11月12日に岩国のFA-18が沖縄の東南東299メートルの海上に墜落したということで、原因はエンジントラブルというところまで情報は得ておりますけれども、これ以上の詳しい情報は入ってきていないところでは。

それから、オスプレイの関係ですけれども、基本的にはオスプレイは今のところ陸上自衛隊の中で運用を行っているということで、航空自衛隊の第2航空団に配備するというお話は聞いていないところでは。

今、陸上自衛隊では佐賀空港のほうに配備するという情報までは、聞いておりますけれども、千歳に入るというお話は今のところは聞いておりません。以上です。

◆会長

A委員、よろしいですか。

◆A委員

はい、分かっている範囲を説明していただきました。

ただ、1機の新しい政府専用機はもう飛んで訓練をしているのですよね、前の政府専用機よりは非常に静かなので分からないのかもしれませんが、コースは逸脱ではないですけども、あちこち飛んでいますので、できれば政府専用機の性能が分かればと思っています。わかりました、以上です。

(2) 協議事項

ア 平成30・31年度再編関連訓練移転等交付金事業内容について

◆会長

他に、エとオにつきまして、ご質問受けますが、よろしいでしょうか。頷いておりますので、それではこれは終りまして、(2)の協議事項に入ります。

アの平成30年31年度再編関連訓練移転等交付金事業内容につきまして、ご説明をお願いします。

◇事務局

それでは、(2)協議事項のア「平成30・31年度再編関連訓練移転等交付金事業」内容につきまして、資料6、77ページの平成30年度事業をご覧ください。

白塗りの事業については、昨年11月の本協議会においてご承認いただきました事業でございます。現在実施中でございます。

その中で、植苗美沢地区の1段目「道営住宅建設に係る新設道路整備事業」及び沼ノ端地区の1段目「沼ノ端交流センター備品等整備事業」については、それぞれ480万円の減、300万円増の見込みとなっております。

それでは、本日提案させていただく網掛けの事業につきまして、上から順にご説明いたします。

まず、植苗・美沢地区の2段目、「植苗ファミリーセンター電気設備等整備事業」につきましては、植苗ファミリーセンターの電気設備のLED化及び音響設備の改修等ございまして、交付金は1,743万円となっております。

こちらにつきましては、早急な事業の着手が必要だったため、会長及び副会長に事前に相談させていただき、事業を開始させていただいております。

次に、3段目の「植苗・美沢地区不法投棄監視カメラ設置事業」につきましては、不法投棄が多く発生している植苗・美沢地区に監視カメラ5箇所5台の設置を検討しております。

カメラは、約7mの自立柱を立て、北電の電柱から配線を行い設置するものとなっております。交付金につきましては、472万円となっております。

次に、4段目の「植苗小中学校災害用蓄電器整備事業」につきましては、沼ノ端地区の5段目「沼ノ端地区災害用蓄電器整備事業」と勇払地区の1段目「勇払小中学校災害用蓄電器整備事業」と同じものでして、災害時の避難所となっております。植苗小中学校、ウトナイ小学校、沼ノ端

小学校、拓進小学校、勇払小学校、勇払中学校の計6箇所に、災害時の通信機器や照明などの電源として、蓄電器を導入する予定となっております。交付金につきましては、植苗地区で1台250万円、沼ノ端地区で3台750万円、勇払地区で2台500万円となっております。

続いて、沼ノ端地区の2段目、「沼ノ端コミュニティセンタートレーニング機器整備事業」につきましては、老朽化したトレーニング機器5種の購入を予定しております。交付金につきましては、472万円となっております。

3段目の「東地区公園内防犯カメラ設置事業」につきましては、沼ノ端地区の「拓勇公園」「緑葉公園」「白鳥公園」「新栄公園」「清流公園」「花畔公園」そして「沼ノ端中央公園」の7つの公園に、犯罪抑止のための防犯カメラを9台設置することを予定しております。

防犯カメラは、公園の時計塔や約5~6mの自立柱に設置し、北電の電柱、または公園内の電源盤から配線を行うものとなっております。交付金につきましては、950万円となっております。

4段目の「ウトナイ中学校防災用WI-FI整備事業」につきましては、昨年度も、植苗小中学校や沼ノ端小中学校など9校にWI-FIを設置しておりますが、平成31年4月開校予定のウトナイ中学校におきましても、同様にWI-FIの整備をする予定となっております。

WI-FIとは、パソコンやスマートフォンなどでのネットワーク機器を無線で接続するためのものごさいます。災害発生時の情報収集及び安否確認をするための手段として有効となっております。

交付金につきましては、120万円ごさいます。

続いて5段目の「沼ノ端地区災害用蓄電器整備事業」及び勇払地区の1段目「勇払小中学校災害用蓄電器整備事業」につきましては、先ほど説明ささせていただきましたとおりごさいます。

続いて、勇払地区の2段目「勇払公民館スポーツ器具等整備事業」ごさいます。こちらは、勇払公民館のバレーボールやバドミントンの支柱、ネットなどの購入及び会議室や研修室のブラインドを整備する予定となり、交付金は180万円となっております。

続いて、三地区含む共通では、「小中学校図書整備事業」を予定しており、こちらは、29年度と同様の事業ごさいます。三地区の小中学校の図書や棚などの購入事業となり、交付金は1,000万円となっております。

続いて共通では、3件の事業を予定しております。1段目の「保健センター医療機器整備事業」につきましては、胃がん検診に使用する「内視鏡装置一式」の購入ごさいます。

29年度の交付金で内視鏡カメラを購入しておりますが、受診率が高くなったこともあり、今回、内視鏡カメラ2本と保管庫を増やすほか、超音波を当て、映像化する「エコー」と呼ばれる診断装置を購入する予定しております。交付金は1,100万円となっております。

2段目の「高齢者福祉センター備品等整備事業」につきましては、老朽化したテーブルや椅子、マッサージチェアの購入を計画しております。

高齢者福祉センターは、旧市立病院にごさいます。高齢者の健康増進、教養の向上など、健康で明るい生活を営むことを目的として設置されております。テーブルや椅子については、各種教養講座や同好会などで使用すると考えており、マッサージチェアは、健康増進器具として購入

する予定でございます。交付金は、475万円となっております。

3段目の「市立病院医療機器整備事業」につきましては、各種事業の差金も併せた最終的な調整と考えており、整備する医療機器におきましては、現在未定となっております。

なお、「共通」の割合につきましては、以前からご指摘を受けておりますが、17.5%となっております。

以上が、平成30年度事業でございます。これらの事業につきましてご承認いただけましたら、今後、平成30年度事業として、早急に進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

続いて78ページをご覧ください。こちらは、平成31年度再編関連訓練移転等交付金予定事業でございます。

一番下の欄に記載されておりますとおり、全体の交付額は未定であります。1億6千万円分を今回提案させていただきます。

予定している事業でございますが、植苗・美沢地区の、「植苗消防分団車両更新」につきましては、老朽化した植苗分団車両の水槽付消防ポンプ自動車の購入を考えており、交付金は6,030万円となります。

次に、沼ノ端地区の1段目「沼ノ端駅前通り歩道改良工事」でございます。こちらにつきましては、沼ノ端駅南側から道道259号上厚真苫小牧線まで、約300mの歩道を31年と32年の2か年計画で改良工事をする予定でありまして、31年度の交付金は3,800万円となります。

2段目の「青翔中学校災害用備蓄倉庫整備事業」につきましては、青翔中学校の敷地内に、新たに災害用備蓄倉庫を設置することを予定しております。

次に、勇払地区の「勇払開拓史跡公園整備事業」につきましては、勇武津資料館横にあります、開拓史跡公園を囲んでいるブロック塀の整備と勇払移住千人同心の墓の石畳などを整備する予定でありまして、交付金につきましては、1,750万円となります。

なお、勇武津資料館の施設整備事業につきましては、現在、担当課と協議を進めているところでございます。

次に、三地区含む共通、1段目の航空機騒音常時監視システム整備事業でございます。こちらにつきましては、騒音測定器のシステム更新事業としまして、親局及び常時監視局5局、臨時測定局3局の更新でございます。交付金につきましては、3,000万円となっております。

2段目の小中学校図書整備事業につきましては、30年度と同様の事業で、小中学校における図書整備でございます。交付金につきましては、800万円となっております。

最後に、共通といたしまして、差金等の最終調整弁として市立病院医療機器整備事業でございます。

以上、平成31年度の再編関連訓練移転等交付金事業として提案してございますが、本交付金は、定額分の通知が4月頃、実績分は11月頃になる見込みでありますので、見込みを上回る交付金の場合には、再度、本協議会で提案したいと考えております。

また、取り急ぎ、事業を着手する場合には会長、副会長へ相談して、事業を進めさせていただ

きたいと考えております。

以上が、31年度再編関連訓練移転等交付金予定事業でございます。

これらの事業につきましてご承認いただけましたら、今後、平成31年度事業として進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。私からは以上です。

◆会長

ありがとうございました。

それでは(2)の協議事項アの平成30年31年度再編関連訓練移転等交付金事業内容につきまして皆様からご質問ご意見を受けたいと思います。

A委員どうぞ。

◆A委員

何度もすみません。今年度、植苗地区は42%と比率が高いので心苦しいのですが、この蓄電器の件なのです。まちかどミーティングでも、うちの委員から質問があったのですがけれども、ファミリーセンターとか道の駅に蓄電器の設備を、是非こういう災害の時期にして欲しいなと思う要望です。

今年度は非常に比率が高いので、次年度でも良いのですが。

もう一つは、質問なのですが、31年度の再編交付金事業、この3地区共通の航空機のシステム整備事業というのは、どういうことをやろうとしているのでしょうか。以上です。

◆会長

それでは2点について。

◇事務局

私から、航空機騒音常時監視システム整備事業について、お話をさせていただきたいと思います。

親局のコンピュータ及びソフトウェア、それから5局の測定機器並びに訓練移転等で使用する臨時測定装置の測定機器の更新を予定しております。

更新の理由としましては、測定機器は導入から12年以上経過しておりまして、頻繁ではありませんが不具合が発生していることと、それからコンピュータにつきましても11年が経過しているため、メーカーの保証を受けられない状況でございます。

現在のシステムは、5局付近で発生しました一定以上の音について全て録音して記録し、そのデータを環境保全課にある親局にて確認することができます。

しかしながら、航空機騒音以外の音もデータとして記録してしまいますので、その部分は日々削除して航空機騒音のみのデータとなるよう作業を行っているところです。

新しいシステムでは、航空機自動識別装置を追加しまして、航空機騒音以外の音は自動的に除外されまして、統計処理は航空機騒音のみで行えるような設計となっております。

また、飛行自粛時間に不明な航空機があったり、高度が低く感じるといった声に対応するため、航空機の特定や高度が分かるような機能も追加しています。

更には、安定した監視ができるよう不具合が発生した際に、自動アラームで通知ができる機能も追加して、長期間の測定停止を防ぐことで常時監視としての役割を強化したいと考えているところです。以上です。

◇事務局

植苗ファミリーセンターの蓄電器の件でございます。

こちらの話は、まちかどミーティングでもお話を伺ったところでもありますけれども、今回の30年度交付金事業の中の、植苗ファミリーセンター電気設備等整備事業、こちらの中で小型ではありますが、発電器を購入することを計画しております。

また、道の駅の関係でございますけれども、こちらの件につきましては、来年度以降、計画を考えていきたいと考えております。以上です。

◆会長

A委員、今の回答はいかがですか。

◆A委員

ファミリーセンターの件については言われていたので、知らないで大変申し訳ございません。

ただ、31年度の今言われたシステム、31年より30年にやったほうが良いのではないかなと、そんなコンピュータの誤差があるだとか言うのであれば、もっと早いほうが良いのではないかなと思って伺っていたところです。

システムが古いからやるのは良いのですけれども、これも予算の順番だから仕方がないのかなと思って聞いておりましたけど、老朽化しているのであれば早急にやったほうが良いのではないかなと思って聞いていました。以上です。

◆会長

それでは、ほかにご質問ある方がおりましたらお受けします。

よろしいでしょうか、はい、それではご意見がございませんので、この辺で(2)アを締めさせていただきます。

続きまして、その他につきまして、事務局ございましたらお伺いいたします。

◇事務局

その他はございません。

◆会長

皆様からは。B委員さんどうぞ。

◆B委員

先ほど、遅延便に関して会長からもお話出していたのだけれども、パイロットの飲酒のことが随分色々な角度から報道されていますので、安全運航ということから見れば、大変大きな問題でありますので、色々今国としても対策は取られてくると思うのですけれども、方向がまとまったら、是非この委員会にも報告をしていただきたいと要望しておきます。

◆会長

はい、事務局。

◇事務局

最近の新聞報道で、すごく飲酒の関係が出ております。この辺に関しましては、情報を集めまして、次回の協議会で報告できるようにしたいと考えてございます。

◆会長

その他でございましたらお受けしますが、よろしいでしょうか。無いようですので、この辺で終了してよろしいでしょうか。

今ありましたように、地域が段々と充実した設備ができていくことに大変嬉しく思っています。

特に、蓄電器はブラックアウトになった時には、もう無いとは思いますが、備えあれば憂いなしということでございますので、是非活用していただければと思っております。

それでは、これを持ちまして、平成30年度第2回苫小牧市航空機騒音対策協議会を終了いたします。

大変お疲れ様でした。ありがとうございました。